

時間割コード	G1D13302	開講年度	2026				
授業題目	ドイツ語初級（文法） I					担当教員	磯部 美穂
英文授業名	German: Elementary Level (Grammar) I						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	L I
講義室	共通教育 6 5 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	ドイツ語の基礎的な文法規則を学び、基本的な表現が理解できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	授業は、文法事項を解説した後、練習問題によって理解を深めていきます。授業の後、自己採点をおこない、理解できたことと理解できていないことを確認してもらいます。次の授業時間に、理解できていないことを中心に質疑応答の時間を設け、クラス全体で復習をおこないます。また適宜、課題や小テストによって習熟度を確認し、中間・期末試験で最終的な理解度の確認をおこないます。						
(5)授業のキーワード	ドイツ語、文法						
(6)授業計画	以下の予定で、授業を進めますが、受講者の習熟度により進度が変更されることがあります。 第1回 ガイダンス ドイツ語のアルファベットを発音する 第2回 母音文字と子音文字：発音規則について理解する 第3回 動詞の現在人称変化について理解する 第4回 重要な動詞の現在人称変化を理解する 第5回 名詞の性と格について理解する 第6回 名詞の格変化を使って簡単な文を作ってみる 第7回 代名詞について理解する 第8回 冠詞について理解する 第9回 中間確認試験／授業アンケートを実施 第10回 前置詞について理解する 第11回 前置詞の用法について理解する 第12回 分離・非分離動詞について理解する 第13回 話法の助動詞について理解する 第14回 話法の助動詞の用法について理解する 第15回 前期の学習内容を振り返る／授業アンケートを実施 第16回 期末試験 ＊教員の体調や気象状況などで、授業の形態や計画が変更されることもあります。必ず、eAlpsコース内に掲載されるアナウンスメントや授業計画を確認するようにしてください。						
(7)成績評価の方法	成績は、筆記試験（中間・期末試験：各50点満点）の合計点と復習プリントの得点率を点数化したものを、70％と30％の割合で算出し、60点に達すれば、水準にあると評価します。 中間試験、期末試験は、それぞれ50点満点とし、合計で60点以上得点すれば、初級文法習得レベルにあると判断します。 復習プリントは毎回提出することを前提とし、その上で、平均点が6点（/10点）以上であれば、水準にあると評価します。						
(8)成績評価の基準	中間試験、期末試験の評価基準： 学習したドイツ語の文法事項の基本的な問題に解答することができれば水準にある。 学習した文法事項を使って、簡単なドイツ語の文をつくることができればやや上にある。辞書を使って、テキストを正確に日本語に訳すことができればかなり上にある。 学習したドイツ語の文法事項を正確に理解して自分のことばで説明することができればかなり上にある。 復習プリントの評価基準： 復習プリントを自己採点し、理解できていない内容や問題を自分のことばで説明することができれば水準にある。						
(9)事前事後学習の内容	授業で扱われた文法事項について教科書の説明文を読み返し、入念に復習すること。 教科書の「単語を復習してみよう」の音声聞いて、単語の復習をすること。 eAlps内に掲示する復習プリントの解答を使って、自己採点をおこない、次の授業までに理解できたこと・できていないことを整理しておくこと。 eAlps内の「復習テスト」で自身の理解度を確認すること。 eAlps内に掲示する次回授業のスライドを参考に、準備しておくこと。 ＊この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。 学習した項目を読み返し、理解できていないことを質問できるように自分のことばでメモしておくこと。						

(10)履修上の注意	(1) 授業の前後に必ずeAlps内本授業のコースを確認し、必要な資料は印刷の上持参すること。 ＊この授業では、電子機器を必要とすることはありません。PCは電源を切り、携帯と共に机上に置かないようにしてください。 (2) 授業中に出される指示を正確に理解し、作業をおこなうこと。指示が理解できなかった場合は、手を挙げて質問すること。 (3) 課題は期日を守り提出すること。 (4) 必要に応じて、辞書を持参すること。辞書については、初回授業時に説明します。 (5) 始業チャイムが鳴り終える前に入室しておくこと。周囲に影響を与える遅刻や居眠りは慎むようにしてください。場合によっては退室をお願いすることがあります。
(11)質問、相談への対応	メールにて受け付けます。アドレス:isobe@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、出席できなかった場合は、欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	磯部美穂『快速マスタードイツ語』語研、2020年、2640円（税込み）
【参考書】	指定しない。